

## 総務大臣 年頭所感



総務大臣

むらかみ せいいちろう  
村上 誠一郎

### はじめに

明けましておめでとうございます。

昨年（2024年）10月に総務大臣を拝命しました。

まず、昨年より、能登半島での地震や大雨をはじめ、災害が多発し、全国各地で甚大な被害が発生しました。犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

我が国の人口が減少に転じる中、経済・財政など様々な分野で難問が山積する「待ったなし」の状況であります。

私は、国民生活に密着した分野を預かる総務大臣として、国民や地方を守り、未来を創るといった内閣の基本方針の下、全力で取り組む所存です。

このような決意の下、当面、特に力を入れて取り組みたい政策の方向性について、一端を申し述べます。

### 能登半島地震の教訓を踏まえた国民・住民の安全・安心の確保

能登半島地震の教訓を踏まえて国民・住民の安全・安心の確保に向けて取り組みます。

災害時にも情報を確実に届けられる環境を整備するため、携帯電話基地局やケーブルテレビ網等の通信・放送インフラの強靱化、被災地における通信確保と被災状況把握に官民連携で対応する体制の計画的な整備などを図ります。

5Gの都市・地方での一体的整備や地方における光ファイバの整備、データセンターの地方分散や海底ケーブルの整備、非地上系ネットワークの展開、自動運転の早期導入に向けた通信環境の整備など、先進的なデジタル基盤の整備を進めます。

NTT法を含む通信政策の在り方について、ユニバーサルサービス、公正競争、経済安全保障、国際競争力の四つの観点から、国民・利用者目線で、検討を進めます。

また、社会経済活動における電波利用の飛躍的な拡大を目指し、新たな周波数割当方式の導入に向けた検討などに取り組みます。

災害情報を共有するLアラートの信頼性向上、他の防災システムとの連携強化に向け取り組みます。

### DXの推進

デジタルの力を最大限に活用し、地方団体や地域社会におけるDXを推進するとともに、それを支える人材の確保・育成に取り組みます。

DXによる持続可能な地域社会の実現に向け、AI等のデジタル技術を活用した地域課題解決のための取り組みを支援し、地方創生の好事例創出やその横展開に取り組みます。

### 信頼できる情報通信環境の整備

インターネット上では、偽・誤情報や、誹謗中傷等の権利侵害情報の流通・拡散が深刻化しています。昨年成立した情報流通プラットフォーム対処法の早期施行に向けて、取り組みを進めます。

さらに、利用者のリテラシー向上や偽・誤情報対策技術の研究開発、国際連携・協力なども含めた総合的な対応を進めます。

また、国民の知る権利を満たすなどの社会的役割が期待される放送を持続可能とする観点から、放送の将来像と制度の在り方について更なる検討を進めます。

IoT機器のセキュリティ対策の強化、人材育成や情報分析など、サイバーセキュリティ対策の強化を進めます。

### 国際競争力の強化と国際連携の深化

国際競争力の強化と国際連携の深化を進めます。

AIについては、我が国が国際的なルール作りを主導し、世界初の包括的政策枠組みに合意した「広島AIプロセス」の成果を踏まえ、賛同国の増加や企業等による国際行動規範への支持拡大を図ります。

研究開発やその成果の社会実装に当たっては、情報通信研究機構（NICT）を産学官連携の中核とすべく、体制等の強化を進めます。

さらに、NICTの保有するAI学習用の良質な日本語データを整備・拡充し、国内の事業者等に提供することで、AI開発力の強化を図ります。

安心して生成AIの開発・提供・利用を進められるよう昨年策定したガイドラインを、国内外に向け広く普及啓発を図ります。

AI社会を支えるオール光ネットワーク等の次世代情報通信基盤や、宇宙通信、量子暗号通信をはじめとした先端技術の社会実装や海外展開を見据えた研究開発・国際標準化を推進します。

我が国から幹部職員を輩出している国際電気通信連合、アジア・太平洋電気通信共同体等の国際機関と緊密に連携します。

安全で強靱なデジタルインフラの構築に関する国際連携を深め、5Gや光ネットワークをはじめとするデジタルインフラの海外展開を進めます。

### むすび

皆様の本年のご健勝、ご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。